

# パルス渦流探傷 金属腐食診断



(画像：有限会社ティティエス)

電磁誘導による渦電流で、  
非接触で金属板厚を測定！  
付帯工事を必要とせずコスト削減・  
検査工期短縮に寄与します！

## お客様の課題

- 腐食検査を短期間・低コストで実施したい。
- 不要な解体作業を減らして検査したい。
- 足場を組むコストが高くて困っている。

## 内容・特徴

- PEC（パルス渦流探傷）スクリーニングは、電磁誘導による渦電流で非接触で金属板厚を測定します。
- 対象金属の表面に直接接触することなく、保温・保冷・耐火材などの上から腐食を検査します。

## 導入効果

- 診断後、報告書を提出します。

## お客様の声

- 被覆を剥がすことなく足場なしで高所も対応でき、工数・コストを大幅に抑えることができた。
- 腐食は淵の部分だけであり、一部の補修のみでタンクを継続使用することができ、コストダウンになった。
- 短期間で健全性が証明され、安心して操業することができる。

対象設備および結果概要

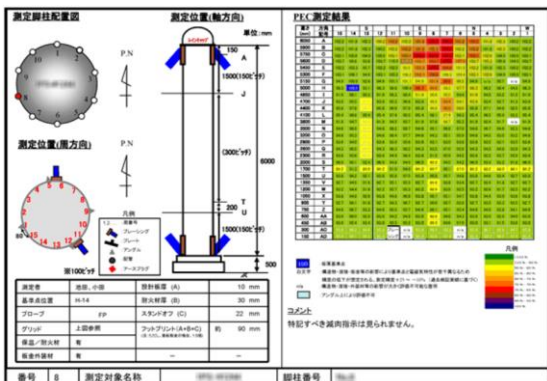
タンク名：(株) 事業部

番号	部位番号	コメント	ページ
1	No.1	特記すべき腐食箇所は見られません。	4
2	No.2	構造物周辺により測定精度は低下しておりますが、AFIに15%程度の減肉箇所(最小検出率: 93.2%)が見られます。	5
3	No.3	特記すべき腐食箇所は見られません。	6
4	No.4	FPIより上部において、15%程度の減肉箇所(最小検出率: 93.4%)が散在しております。	7
5	No.5	FPIより上部において、15%程度の減肉箇所(最小検出率: 94.7%)が散在しております。	8
6	No.6	特記すべき腐食箇所は見られません。	9
7	No.7	特記すべき腐食箇所は見られません。	10
8	No.8	屋根上部(屋根)において、屋根材の剥離箇所が確認されました。	11
9	No.9	FPIより上部において、腐食箇所が10%程度厚くなっており、腐食が進展している可能性があります。特記すべき腐食箇所は見られません。	12
10	No.10	FPIより上部において、腐食箇所が10%程度厚くなっており、腐食が進展している可能性があります。特記すべき腐食箇所は見られません。	13

※板厚分布値は、対象材料に設定した板厚基準点における値を100%とした値となります。  
また、表示値はスポット内の平均値となるため、局部腐食の場合、実腐食はさらに深い可能性があります。

## 料金目安

100万円~/回(1日・作業員2名)  
※Email : [gaspromag@tn-sanso.co.jp](mailto:gaspromag@tn-sanso.co.jp)  
基盤事業支援ユニット営業企画部  
星野・大屋



(画像：有限会社ティティエス)

(リンク先：有限会社ティティエス)

